

2 学力向上に向けた取組の充実のために

学力向上に向けた取組の充実のために

～学力向上で成果を上げた学校が配慮している事項～

学力向上の取組で成果を上げている学校では、様々な取組において、次のような事項に配慮している傾向があります。各学校においては、次に示す事項を参考にして、新たな取組を行ったり、これまでの取組の改善を図ったりして児童生徒一人一人の学力の向上に努めることが大切です。なお、ここで示す取組は、全国学力・学習状況調査における学校質問紙調査及び児童生徒質問紙調査の質問項目に関わりあるものを取り上げています。

■ 学習習慣の確立

- 児童生徒の発達段階等を踏まえ、家庭学習に取り組む内容や時間、課題の量の目安を示すなどして、保護者と共通理解を図ります。
- 児童生徒が自ら学習の見通しを立てて予習したり、学習した内容を振り返って復習したりできるよう、家庭学習の進め方などについて指導します。
- 児童生徒の学習意欲を喚起するよう、家庭学習ノートを通して、努力している様子をほめて成果を実感させたり、励ましたりします。

■ 効果的な宿題の取組

- 学校としての「宿題に関する方針」を明らかにし、担任や教科担任が共通理解を図り同じ姿勢で取り組みます。
- 「宿題に関する方針」を家庭に示し、学校と家庭が役割を分担し、協力して児童生徒の宿題を支援します。
- 授業で学習したことをその日のうちに家庭で復習するなど、授業と宿題との関連を図り、学習したことが着実に身に付くようにします。
- 宿題の取組状況から「つまずいている学習内容」を把握するなどして、授業改善に生かします。

■ 読書習慣の確立

- 国語の「読むこと」の指導の充実を図り、目的に応じていろいろな本を読んだり、知識を広げたり、考えを深めたりできるようにします。
- 朝読書などで、国語で学習した教材に関連した本を読む機会を設定します。
- 学校図書館の充実を図り、校内の読書環境を整備します。
- 教師のお薦めの図書を児童生徒や保護者に紹介したり、児童生徒が読んだ本を紹介したカードなどを掲示したりします。
- 家庭で読書を継続するよう、読書週間を設定したり、親子で読書をする機会を促したりします。

■ 生活習慣の確立

- 学校と家庭が共通して取り組むことや保護者に依頼することなどを明確にし、家庭に取組の方向性を示します。
- 児童生徒が自ら生活を管理できるよう、生活を振り返り、生活習慣の進歩の状況を実感したり、改善点を明らかにしたりする指導を行います。
- 児童生徒の実態を踏まえ、全員が取り組むことや個別に取り組むことなどの課題を整理し、効果的に指導します。

■ ノート指導の充実

- 発達の段階や教科の特性などに応じたノートの使い方について、学校全体で共通理解を図ります。
- 要点を整理したり、自分の考えを明らかにしたりできるよう、囲みや小見出し、レイアウトなどを工夫するよう指導します。
- 互いのよさを認め合い高め合うことができるよう、互いのノートを見せ合う場面を設定します。
- ノートに書かれた児童生徒の考えや感想などに目を通し、一人一人の理解の状況を把握し、次時の授業改善に生かします。

■ 全国学力・学習状況調査の調査問題の活用

- 自校の調査結果から「定着が十分でない内容」や「無解答率が高い問題」を把握し重点的に指導します。
- 小学校第6学年及び中学校第3学年では、調査後に、定着が十分でない調査問題に関する内容等について指導したり、再度、同じ問題に取り組ませたりします。
- 小学校第5学年及び中学校第2学年では、学年末のまとめのテスト等において、過去の調査問題を活用して学習内容の定着の状況を把握し、次の指導に生かします。

■ 習熟度別学習の充実

- 児童生徒に優越感や劣等感を抱かせたり、学習意欲を低下させたりすることのないよう、児童生徒の希望を踏まえて学習集団を分け、学習の進め方を説明するなどガイダンスを行います。
- 習熟度別学習は、学力の向上のために効果的であることや学習集団は固定化するものでないことなど、目的や意義、方法などについて保護者に説明し、理解を得るようにします。
- 習熟の程度に応じた学習の成果を児童生徒や保護者が実感できるように、単元テストの結果や児童生徒の声などを保護者会や学校だよりなどで示します。

■ ティーム・ティーチングの充実

- いつ、誰が、どのような指導を行うかなど役割を明確にします。
- 習熟の程度、学習速度、生活経験などの個人差に視点を当てた指導を行います。
- T1が一斉指導、T2が観察、個別指導といった役割分担だけでなく、児童生徒の実態に応じて、授業の途中で習熟度別学習を取り入れるなどの工夫を図ります。
- 児童生徒一人一人の学習状況を見取り、情報を共有し、次の指導に生かします。

■ 日常生活との関連を図った指導

- 児童生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、興味・関心が高い問題や日常生活に基づいた問題を授業で活用します。
- 基礎的・基本的な知識・技能を活用して日常生活と関連が深い学習を展開できるように、単元等の指導計画の構成や練習問題を工夫します。
- 各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活に生かし、それらが総合的に働くよう、「総合的な学習の時間」の指導計画を工夫します。

■ 学習規律の確立

- 集団で学ぶためには学習規律が必要であることを児童生徒に自覚させ、落ち着いた雰囲気での学習できるように指導します。
- 発達の段階や児童生徒の実態を踏まえ、ルールを担任がつくる、児童生徒がつくる、または担任と児童生徒が一緒につくるなどの工夫します。
- 児童生徒が日常的に学ぶ意識を高めるよう、学級目標などとともに学習規律を教室に掲示します。
- 進歩したことは賞賛し、課題となっていることは具体的な目標を設定するなどして、継続的に粘り強く取り組み、指導の徹底を図ります。

■ 長期休業中等の学習サポートの実施

- 学校全体で、学習サポートのねらいを明確にし、全教職員の共通理解を図ります。
 - 定着を図る繰り返しのドリルや理解の状況に応じた学習プリントを準備するなど、ねらいに応じて教材を工夫します。
 - 個別指導やコース別指導など、児童生徒の実態や興味・関心に応じた指導方法や指導体制を工夫します。
 - 長期休業が終了した後に確認テストを行うなど、取組の成果を児童生徒が実感できるようにします。
- ※ 始業前、放課後等の学習サポートも同様に取り組むことが大切です。

■ 学ぶ意義の理解

- 学級活動の指導において、進路の選択や将来の生き方と「学ぶこと」の関連について考える機会を設定します。
- 各教科等を学ぶ前や単元の最初に行うガイダンスの時間で教科等の特色や学習内容、学ぶ意義などについて説明します。
- 児童生徒が、学んだことが役立つ実感をもてるよう、国語科で学んだ話し合いの方法を他教科で用いたり、教科で学習したことを総合的な学習の時間の探究活動に生かしたりします。

■ 授業での「学び方」の指導

- 問題解決的な学習を基本として、各教科の特性に応じて「学び方」を工夫します。
- 児童生徒に示した「学び方」と日常の授業の指導過程との整合性を図ります。
- 「学び方」を教室に掲示したり、ノートに貼ったりして児童生徒が日常的に意識できるようにします。

■ 学習集団づくり

- 児童生徒が互いのよさを認め合ったり、改善すべき点を確かめ合ったりするなど、互いを理解する場面を授業に位置付けます。
- 児童生徒が互いに認め合う経験ができるよう、グループ学習やペア学習など、様々な場面を通じてコミュニケーションを図る場面を設定します。
- 3学級が合体した大規模な集団や5～6人の小グループ、複式の学級など、様々な集団の規模やそれらに属する児童生徒の特性、人間関係などを考慮して、より効果的に機能するよう学級集団を構成します。

■ 校内研修の充実

- 教育の今日的な課題や学校課題などを踏まえ、重要なものから研修するなど、研修内容を重点化します。
- ワークショップなどの参加型の研修を行ったり、外部講師を活用したりするなど、教師が主体的に参加できる研修の形態や方法を工夫します。
- 長期休業中などゆとりのある時間を活用するなど、研修時間を生み出す工夫をします。
- 研修の開始時間を厳守することや、事前に提案資料を配布しておくなど、効率的な運用に努めます。

学力向上で成果を上げた学校が 様々な取組で共通に重視していること

学力向上で成果を上げている学校は、様々な取組において次のような事項を共通に重視している傾向があります。各学校が学力向上に向けて取り組む際には、次の項目を大切にすることによって確実な成果が期待できます。

■ 実態把握と課題の明確化 ■

- 「全国学力・学習状況調査の調査結果」や「授業評価の結果」などから児童生徒の実態や自校の学力に関わる課題を明らかにする。

■ 自校の課題や児童生徒の発達の段階に応じた対応 ■

- 自校の課題に応じた具体的な方策や児童生徒の発達の段階に応じた体系的な取組の方策を明らかにし、重点的に取り組む。

■ 組織的・継続的な取組 ■

- 全教職員が学力に関わる課題や情報を共有し、課題解決に向けて組織的・継続的に取り組む。

■ 家庭や地域との連携 ■

- 学力向上の取組について、学校はその意義や具体的な方策について積極的に説明責任を果たすとともに、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を明らかにし、互いに連携して取り組む。

■ 取組の評価・改善 ■

- 学力向上の成果や課題について、児童生徒の変容に基づいて明らかにし、学校改善プランを見直すなどして具体的かつ迅速に対応する。